

# 園児繪畫觀察の様式

—京都府保育研究會調查—

概括者 森 小 糸

得ることではないと存じて居りますが。去りて、幼児保育を日々仕事としてゐる以上は、少々なり共調査して見たいと思ひまして、

俗に病は、四百四病とか申しまして種々あります。夫れを見別けて適當な治療をしますのは誰が致しますのですか。申迄もなくお医者様のお役目です、其医者は手加減でのみ、人の身體を診察するかのようですが。決して左様ではなく、確な寄り所があるので御座います。さて身體の

方面の事は醫者に任せれば宜敷が、幼児精神的方面の醫者は、母なり保母なりの役目であります。併し幼児の精神の方面と申しましても、中々擴く、個々の精神的作用も幾つもあります。其精神作用を盡く一時に調査することは到底私共のなし

幼稚園時代の子供が繪を好んで見る事は、皆様方の御承知の事ですが、然らば好んで見て居ります所の繪に就て、ドンな見方を、致して居りますか。又幼児の着眼點はどんな所に有ますか。夫れ等を明白に心得て居りませぬと、幼児の精神を適

當に誘導することは出來ませぬ、故に幼兒の觀察

を指導する前に、まず其觀察の様式を知りたいといふのが、この研究に取り係りました、動機で御座います。繪畫により子供の觀察の様式を知る、實驗を初めて試みられし人は、ステルン氏で、同氏は七歳未満の子供は、個物の觀察であると申して居られます。『七歳以下の子供は觀察物中の比較的立ち離れたるもの、又は人のみを觀察し、或は實際には孤立せざるも、觀察の際之を全體より分け離し、個々的に統覺す』と申されていります相です、日本の幼兒は、果してこの結果と、同一でしやうか。

## 二、調査方法

観察させました繪畫は、便宜上ドクトル三田谷啓氏の學齡兒童の智力検査法中の左の圖を用いました。検査に用ひました。(検査に用ひた圖には彩色が施してあり、又大きさも此挿圖の二倍であ

ります。



度を標準として、保母が分類したものであります。調査にかかりました、日時

は、大正五年二月の初めより三月末日に至る間、

毎日午前十時より十一時卅分迄。此調査を行つた幼稚園は、京都市の楊梅、開智、豊園、日彰、生祥、柳池、小川、乾隆の八園の保姆です。

其間に調査致しました人數は、六歳男百三十九

人、六歳女百四十九人、五歳男百人、五歳女六十  
五人、四歳男十三人、四歳女九人であります。

### 三、結果

幼児が繪畫を觀察いたします時、其見方は色々  
です。一二の例を擧げて見ますれば、前記の繪を  
示した場合は、幼児は、思ひくの心に浮んだ事  
を答へます。(『お祖さん兄さん遊んではる』子供  
と喧嘩してゐる硝子が寫つて居る『ここの中学校に  
ゆくと鳥が居ると言ふてはる』)など種々の答へを  
得ます。此答は幼児の觀察の着眼點を語つて居る  
のです、是等を概括分類して、見まして、次の十  
三様式になります。今其様式の下に例を添へて置  
きます。

#### 幼児繪畫觀察を概括せし十三様式

- 一、不明(發表不能)……わからん、知らん、無言、
- 二、景色又は家具……雪が積つてゐる
- 三、命名人 人形、氷彫り

#### 四、個々の物の命名・鞆

五、命名動作……人が柿揃んではる

六、人、動作衣具景色・此子供さんが毬を持つてこ  
ゝやぶらはつた

七、二人の動作……あつちに行くと思つたら向  
ふにお行きやす

八、二人の動作景色家具・鞆あげて、袴はいて、羽  
織着て、下駄穿いて、足袋は

九、三人の動作……ケツタ(隠れん坊)してはる、  
あつちくーと言ふてはる

十、三人の動作景色・雪が降てる雪達磨揃へては  
る、雪がふつて學校に行か  
はると、お祖父さんが止て  
はる

はる

十一、三人の動作家具・黄色の帽子をきてる人、

雪の丸揃へてはる、兄さん  
が鞆さげて、お父さんが向

ふへ行くのやと言ふてはる

十二、三人の動作景色及家具：雪が降る朝ね—此

人と此人と雪投げして硝子

に當てはつたかい過てはる

十三、人と物との眞の關係：雪が降て學校へ行け

と、言ふてはるのに行かは

らん、障子が有る後の「カ

### 観察の檜式と幼兒の分配

觀 畫 繪 の 兒 幼		觀 察 樣 式	年 齡	園 名	
人 员	實 %			楊 梅	開 智
三 二 四 一 =	二〇	六 歲 男	實	楊 梅	開 智
一〇、〇 六、七 三、三 一	二〇、〇	%	同	同	同
二 一 一 一 一 一	一	四	同	同	同
三、三 七、二 一 一 一	一	%	同	同	同
二 九 八 二 二 一 一	二	三	同	同	同
七、四 三、三 六、四 七、四 一	一	%	同	同	同
一 一 一 一 一 一 一	一	二	同	同	同
四 三 二 一 一 一 一	一	三	同	同	同
三 三 三 一 六、六 八、三 一 一	一	%	同	同	同
一 一 一 一 一 一 一	一	元	同	同	同
三、六 一 一 一 一 一 一	一	%	同	同	同
二 四 一 一 一 一 一 一	一	三	同	同	同
七、四 二、四 八、六 一 一 一 一	一	%	同	同	同
四 元 四 三 四 一 三 〇	一〇	二	同	同	同
一〇、一 一、七 一 一 二、三 二、二 一	一	%	同	同	同

コイ」の所で、雪をかため

てほらはつた、硝子が破れ

た、雪が積つてゐる

總括 各幼稚園の所在は、上京、中京、下京にありて幼兒の家庭の情況が異りますから、自然繪畫觀察にも多少の違いは、御座いますけれど、總括して、

各樣式と人數との關係を次の表で示します。

表

## 観察の様式と幼児の分配

幼兒の繪畫觀察式												園年	名
觀察樣式		年齡		幼兒數									
不	命	個	命	明(發表不能)	家	屋	人	形	名	物	又ハ	色	景
楊	梅	六歲女	實語	四	四	一	五	一	二	三	三	一	人
開	智	同	實語	二	二	二	九	二	九	八	八	二、八	人ノ
豐	園	同	三〇	三	三	五	五	六	六	二	二	一	二人ノ動作
日	彰	同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三人ノ動作
柳	池	同	三〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三人ノ動作
小	川	同	三〇	二	四	五	三	一	一	一	一	一	三人ノ動作
乾	隆	同	一	七	四	三	一	六	一	一	一	一	三人ノ動作
合	計	比	一	三	三	一	一	六	一	一	一	一	三人ノ動作
不	命	個	命	明(發表不能)	家	屋	人	形	名	物	又ハ	色	景
一	〇	七	〇	一	〇	一	〇	一	〇	一	〇	一	〇

第三表 第三

幼兒の繪畫觀察式の様式										年 齢	名 園	觀察 樣式
不 明(發表不能)	景 色	又 ハ	家 屋	命 名	個 々 ノ 物 ノ 命 名	人 形 名	人 物 名	人 物 名	人 物 名			
人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	五 歳 男	豐 園	一
三人ノ動作	三人ノ動作	三人ノ動作	三人ノ動作	三人ノ動作	二人ノ動作	二人ノ動作	二人ノ動作	二人ノ動作	二人ノ動作	五 歲 男	生 祥	一
三人ノ動作及家具	三人ノ動作及家具	三人ノ動作及家具	三人ノ動作及家具	三人ノ動作及家具	三人ノ動作及家具	三人ノ動作及家具	三人ノ動作及家具	三人ノ動作及家具	三人ノ動作及家具	五 歲 男	日 彰	一
人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	五 歲 男	柳 池	一
人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	五 歲 男	小 川	一
人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	五 歲 男	乾 隆	一
人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	人ト物トノ眞ノ關係	五 歲 男	合 計 比	一

## 觀察と幼兒の分配表

第四表 第

表五 児の絵画觀察式の命名

景色又ハ家屋	命名	形人屋
個々ノ物ノ命名	色彩	人ト物ト眞ノ關係
一	一	一
三、三	一	一
二	一	一
四、〇	一	一
一	一	一
三、一	一	一
四、〇	一	一
一	一	一
三、一	一	一
四、〇	一	一
一	一	一
二、一	一	一
三、四	一	一
七、七	一	一
一	一	一
二	一	一
〇、〇	一	一
一	一	一
二	一	一
三	一	一
三、二	一	一

表の見方

第一表六歳男（満六年一ヶ月より六年十二ヶ月迄

國幼兒數合計を以て、其行の幼兒合計數を割り出したる百分比なり。

を言ふ以下準之）第二表は六歳女、第三表は五歳

の男、第四表は五歳の女、第五表は四歳と男と女

なり。

一段は様式の配列、二段實あるは、幼兒數を言ふ、三段目の數は、一園の幼兒總數にて、其行の幼兒數を割り出したる百分比なり。合計比は、各

これ等の表を見ますと『六歳の男では三人の動作一五、八。二人の動作一、三七。三人の動作景色及家具一三、七。』が最も多く六歳の女五歳の男と多少百分比に相違はありますが、大體全く六歳と同様であります。五歳の女では『一人の動作、二人の動作、三人の動作家具。』が多いので此時代に

人間の動作、三人の動作家具。』が多いので此時代に

は、男女の區別が餘り有りません。そして此種の調査は、成るべく多人數が宜敷いのであります。

今回は、以上の人數より得られませなんだが、兎に角此繪畫觀察調査の結果としましては、六歳五歳とも男女通じて『三人の動作、二人の動作、三人の動作景色及家具』といふ觀察の様式が正常な

る見方の様です。かゝる見方の心理學上の解釋は甚だ大切で又興味あるものと思ひますが、それは、私共の力の外ですから遺憾ながら結果のみ述べて置きます。(尙ほ此種の調査を當市内各幼稚園より追々發表せられる筈であります。)

### 机 邊 よ り

### ○ペスター・ラッチとフレーベルとの弱點

—ヘイワード氏『ペスター・ラッチ及フレーベルの教育觀』より—

### 紹 介 子

ペスター・ラッチもフレーベルも教育の目的といふことに就てはハツキリとは述べて居りません。この點に於てこの二教育家は遙かにヘルバルトに劣つて居るやうであります。

ヘルバルトは教育家の仕事に整齊と調和とを與

ふべき唯一の目標として人格構成といふことを擧げて居ります。ヘルバルトはその著「普通教育學」の中で「教育の唯一の目的は一つの概念——即ち、徳性に概括せらる」と明かに述べて居ります。この目的から演繹せられて居るのがヘルバルトの教